

# 令和 7 年度ハンセン病問題対策事業の実施状況

## 【全体総括】

- 岡山県ハンセン病問題対策協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

## 【個別課題への対応】

### 1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

- (1) 単なるパンフレットの配布等ではなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること
  - ハンセン病問題に関する講演会等の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - 地域交流促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - 啓発DVDの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - 小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画の活用・・・・ 4
  - 教員向けハンセン病問題啓発動画の活用・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - ハンセン病療養所実施事業への協力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (2) ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと
  - ホームページでの啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - 学習用小冊子の配布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - 6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業・・ 5
  - 啓発パネル等の貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
  - 12月4日～10日「人権週間」関連事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
  - ◇人権啓発研修（人権・男女共同参画課、保健医療課）・・・・・・・・ 5
  - ◇人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権・男女共同参画課）・・ 5
  - ◇パンフレット等の設置、配布（人権・男女共同参画課）・・・・・・・・ 6
- (3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること
  - 交流研修会の実施等（教育庁）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - 各種研修会における「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明（教育庁）・・ 6
  - 人権教育指導資料の活用の促進等（教育庁）・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習（出前講座）にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること
  - DVDの販売・無料貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - ◇○人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施  
（人権・男女共同参画課、教育庁人権教育・生徒指導課）・・・・・・ 7
- (5) 若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (6) 主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること
  - 県立図書館への設置（教育庁所管 県立図書館）・・・・・・・・・・・・ 7
  - 啓発パネル・関連図書の展示（教育庁所管 県立図書館）・・・・・・ 8

## 2 福祉増進施策の実施

- (1) 入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと
- 議会と保健医療部による合同訪問・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
  - 保健医療部長による訪問・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
  - 入所者激励費の贈呈・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと
- 社会復帰支援員による支援活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
  - 社会復帰推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと
- ◆県営住宅の優先入居（住宅課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
  - 住宅費の一部補助・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと
- 個別案件ごとに対応・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
  - 医療費、介護保険利用料の補助・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと
- 岡山県出身者への訪問・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
  - 意向を伺い、個別案件ごとに対応・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

## 3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施

- 史料の保全に関する国への要望・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

## 4 今後体制を整えた上で、さらに行う取組

- (1) ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施
- 小冊子への体験談の掲載・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
  - 動画やアニメーションによる啓発・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- (2) 関連資料・史料の収集・蓄積
- 資料集刊行、収集した史料の保存・公開・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

(注)

- ◇ 人権・男女共同参画課の実施事業（保健医療課との共同事業を含む）
- ◆ 住宅課の実施事業
- 教育庁の実施事業（人権教育・生徒指導課、県立図書館等）
- 疾病感染症対策課の実施事業

## 全 体 統 括

### ●岡山県ハンセン病問題対策協議会

#### 第1回

令和7年9月29日 開催

#### <議題>

- 1 ハンセン病問題に係る全国的な意識調査について
- 2 令和6年度事業実施実績
- 3 令和7年度事業実施状況

#### 第2回

令和8年3月23日 開催

#### <議題>

- 1 令和7年度事業実施状況
- 2 令和8年度事業計画
- 3 その他

## 個 別 課 題 へ の 対 応

### 1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

(1)単なるパンフレットの配布等でなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること

### ●ハンセン病問題に関する講演会等の開催

入所者による学校講演会 実施校 9校 1,555人 (R6年度 3校 531人)

1	7月7日	和気町立本荘小学校	6年生、保護者等	40人	担当：長島愛生園
2	7月16日	岡山県立邑久高等学校	2年生	2人	担当：長島愛生園
3	8月25日	美作市立勝田中学校	全校	70人	担当：長島愛生園
4	9月8日	赤磐市立山陽小学校	6年生	60人	担当：長島愛生園
5	10月21日	明誠学院高等学校	全校	888人	担当：邑久光明園
6	11月18日	津山市立北陵中学校	1年生	175人	担当：邑久光明園
7	12月8日	和気町立佐伯小学校	5年生、6年生	18人	担当：長島愛生園
8	12月12日	岡山市立福田中学校	1年生	142人	担当：長島愛生園
9	3月4日	岡山県立岡山大安寺中等教育学校	1年生	160人	担当：長島愛生園

- ・令和7年度は9校で実施(令和6年度実施3校に対し、大幅に増加。9校中6校は、過去3年間に実施実績なし)(拡充)
- ・語り部の負担軽減を図るため、オンライン(ZOOM)での講演会を9校中3校で実施した。(令和7年度新規)
- ・オンラインでの講演会を今年度実施したことで見えた「オンラインだと相手の反応が見えずやりにくい」といった課題を、次年度以降の取組につなげていく。

#### 参加した生徒の感想(要約抜粋)

- ・入所者の人たちが人間扱いされていなかったことに驚いた。療養所に一度行ってみたいと思った。差別を減らせるように声をあげたい。
- ・ハンセン病問題は遠いことと思っていたが、感染症への差別は今も変わらないと知った。偏見や差別をなくすよう頑張りたい。
- ・人の問題を自分の問題と考え、人の痛みを自分の痛みと覚えることが重要と思った。

【事例紹介】和気町立本荘小学校の取組

- ・和気町立本荘小学校では、6年生が語り部講演会等を活用してハンセン病問題の学習を行った。
- ・講演会の前に長島愛生園を訪問し、歴史館の見学やフィールドワーク等を行った。
- ・療養所訪問後に長島愛生園自治会の中尾会長による語り部講演会を受講した。
- ・療養所訪問や語り部講演会などで学んだことをもとに、学習発表会でハンセン病問題などの人権を題材にした劇を行ったり、パンフレットを作成して町役場や図書館等で展示したりするなど、学んだことを周囲の人に伝える活動を積極的に行っている。



●地域交流促進事業

県民が実施する地域交流事業への補助

随時

申請件数11件、858人（2月末時点）（R6年度 15件、1,070人）

●啓発DVDの活用

随時 図書館等での視聴・貸出等

貸出数 16枚（2月末時点）（R6年度 15枚）

- ・主に学校が語り部講演会や療養所を訪問して行う研修の事前学習で使用

・平成30年度に作成した動画(DVD)をウェブで配信開始

●小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画の活用

※入所者エピソード2編、歴史解説1編

（令和4年3月ホームページ・YouTubeにて一般公開）

視聴回数 463回（2月末時点）（R6年度 663回）

●教員向けハンセン病問題啓発動画の活用

（令和7年3月ホームページ・YouTubeにて一般公開）

視聴回数 781回（2月末時点）（R6年度 64回）

・パネル展（県庁会場）で動画を上映  
・県立図書館連携展示での上映  
・ハートフルフェスタ2025おかもやまでの上映

●ハンセン病療養所実施事業への協力

令和8年2月14日に開催されたシンポジウムへの後援等の協力

(2)ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと

●ホームページでの啓発

おかもやまハンセン病啓発WEB <https://www.hansen-okayama.jp/>

「ハンセン病を正しく理解するために～みんなで描くひとつの道～」

通年 公開開始：H14. 6. 24

リニューアル：R3. 2. 26

アクセス数 2,534件（2月末時点）（R6年度 2,090件）

●学習用小冊子の配布

「ハンセン病のこと正しく知っていますか？」

随時 学校・市町村等へ配布、長島愛生園歴史館・邑久光明園等での活用  
冊子配布に加えホームページに冊子のPDFデータを掲載

配布数 6,798部（2月末時点）（R6年度 5,051部）

- ・主な配布先：学校、教育委員会、個人

語り部講演会や療養所訪問に参加した生徒の感想を更新。

● 6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業

ハンセン病問題に関する普及啓発及びパネル展開催に係る各種広報

路面電車へ中吊り広告を掲出

- 期間：①令和7年6月13日（金）から6月22日（日）まで  
②令和7年8月11日（月）から8月20日（水）まで



若い方に関心を持ってもらえるよう、これまでの写真形式からマンガ形式の広告に変更し、県庁でのパネル展を周知した。  
このほか、8月にも路面電車に広告を掲出

パネル展

期間：令和7年6月17日（火）から6月27日（金）まで

場所：県庁1階県民室

内容：パネル21枚や関連書籍等の展示  
教員向けハンセン病問題啓発動画等の上映

アンケート内容(一部)

- ・病名のみではない、細かい部分が良く分かった。
- ・ハンセン病問題を通して、知らない事が差別を生むことを伝え、他の社会の問題に人の思いが広がれば良い。
- ・ハンセン病問題の取組は継続性が重要。



● 12月4日～10日「人権週間」関連事業（新）

ハンセン病問題に関する普及啓発

- ・ラジオ等による広報
- ・関連イベントでの啓発パネルの展示や啓発資材の配布

「ハートフルフェスタ2025おかやま」でロビー展示(啓発パネルの展示、動画の上映、パンフレットや啓発資材の配布)

● 啓発パネル等の貸出

貸出数 1件（2月末時点）（R6年度 0件）

県外自治体に貸出

◇ 人権啓発研修（人権・男女共同参画課、保健医療課）

県職員が療養所を訪問し、その歴史と現状を学ぶとともに、人権についての正しい理解と認識を深め、人権行政の担い手としての資質の向上に役立てる。

令和8年1月28日（水） 邑久光明園 32名

◇ 人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権・男女共同参画課）

民間団体との協働による人権尊重社会の実現を目指して、人権意識の高揚を目的に活動する団体が行う人権啓発事業に対し、その実施に係る経費の一部を補助。

＜ハンセン病に関連する啓発事業への補助実績＞

補助団体名：公益財団法人邑久光明園友愛会

補助事業名：人権啓発展示会他

交付決定額：150,000円

関連啓発として、補助団体である邑久光明園友愛会が、令和7年12月6日（土）開催の「ハートフルフェスタ2025おかやま」でロビー展示（啓発パネルの展示）を実施

◇パンフレット等の設置、配布（人権・男女共同参画課）  
随時 公民館・図書館等の公共施設に設置した人権情報コーナー（197か所）での情報提供

(3)道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること

○交流研修会の実施等（教育庁所管 岡山県総合教育センター）  
国立療養所の園長による講義、入所者による講話等を通して、ハンセン病問題についての正しい理解を図る研修を実施した。

- ・人権教育担当者研修講座  
 邑久光明園において、令和7年9月19日（金）に実施（参加者19名）

○各種研修会における、「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の説明（教育庁）  
市町村の人権教育担当者、各学校の人権教育担当者、初任者等を対象にした研修会で、資料を配付し、説明を行った。

<配付資料・説明の内容>

- ・「第4次岡山県人権教育推進プラン」について
- ・「人権問題に関する県民意識調査（令和元年8月調査）」結果概要について
- ・ハンセン病問題学習の充実に向けて（県の事業、小冊子「ハンセン病問題のこと 正しく知っていますか？」等の紹介、配付）

○人権教育指導資料の活用の促進等（教育庁）

授業等で活用できる指導資料（「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集（上）」「ワークショップ（下）」「人権学習実践事例集」「なかおしんじ物語」等）や視聴覚教材等について各種研修会で紹介し、活用を促した。

<作品名>

- ・普及啓発DVD「未来への絆～ハンセン病から学ぶ～」  
（字幕入り）（平成30年2月改訂作品）
- ・YouTube 法務省チャンネル「ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～」
- ・NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材（校内研修用）：「差別の連鎖を絶つーハンセン病問題から学び、伝えるー」

※「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集（上）」は、人権教育・生徒指導課HPでも紹介している。

(4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習(出前講座)にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること

●DVDの販売・無料貸出

通年 民間による販売、疾病感染症対策課・県立図書館において無料貸出

①「ハンセン病を正しく理解するために」3,000円

ハンセン病全般がわかる啓発DVD29分

語り部証言集12名：157分

②「今、わたしたちができること」1,000円

小・中・高校生向けハンセン病啓発DVD14分

③「未来への絆～ハンセン病問題から学ぶ～」(無料貸出のみ)

入所者との交流や語り部講演、人権教育の場として長島の紹介30分

④「語り部講演映像」(無料貸出のみ)

4名の語り部講演映像の啓発DVD136分

販売数 0枚(2月末現在) (R6年度 11枚) (①②のみ)

貸出数 16枚(2月末現在) (R6年度 15枚) 【再掲】

◇○人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施

(人権・男女共同参画課、教育庁人権教育・生徒指導課)

人権問題の早期解決に向けて人権問題相互の関連を図り、自らの課題として日常生活の中に生かせる人権感覚を身につけるための教育・啓発活動を推進できる指導者を養成するため、全4回の研修のうちの一つとして、長島愛生園において現地研修を行った。

実施日：令和7年10月7日(火)

受講者：30名

研修内容：講義、フィールドワーク、歴史館見学

(5) 若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと

各啓発活動の中で配慮

(6) 主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること

○県立図書館への設置(教育庁所管 県立図書館)

通年 ハンセン病関連文献コーナーを設置

(県内市町村立図書館にも、ハンセン病関連の蔵書あり)

7月 「岡山県立図書館所蔵ハンセン病関係資料目録」の作成及び関係機関への送付

○啓発パネル・関連図書の展示（教育庁所管 県立図書館）

- 県立図書館2階 郷土資料部門にて  
「学ぼう！ハンセン病問題」展示
- ・パネル16枚と関連資料約100点を展示
  - ・県や療養所作成のリーフレット等を配布
  - ・教員向けハンセン病問題啓発動画を上映

令和7年度は図書館でも啓発動画を上映



## 2 福祉増進施策の実施

### (1) 入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと

●議会と保健医療部による合同訪問

令和7年6月27日、6月22日の「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」に合わせて、環境文化保健子ども福祉委員長及び保健医療部感染症対策監が長島愛生園及び邑久光明園を訪問

納骨堂への献花。園長、自治会役員と懇談。  
療養所での最近の生活の話やハンセン病問題を後世に語り継いでいく必要性、今年度の花火(夏祭り)についての話などをした。



●保健医療部長による訪問

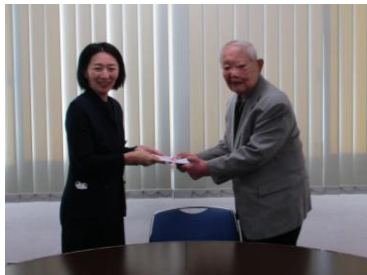
保健医療部長の就任に合わせて、令和7年8月26日に長島愛生園及び邑久光明園を訪問した。

納骨堂への献花。園長、自治会役員と懇談。  
療養所での最近の生活の話や公共交通の利用などの話をした。邑久光明園社会交流会館展示資料室や、長島愛生園の監房跡等の見学を行った。



- 入所者激励費の贈呈（ハンセン病療養所入所者に対するもの）  
令和7年12月16日に副知事が訪問し、贈呈  
対象：長島愛生園及び邑久光明園の入所者全員

納骨堂への献花。園長、自治会役員と懇談。でんしょう愛生館の見学。  
邑久長島大橋が架橋された当時の思いや、日々の暮らしについてお話しした。また、11月に長島愛生園に開館したでんしょう愛生館を見学した。



(2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと

- 社会復帰支援員による支援活動  
平成23年度末をもって、活動終了
- 社会復帰推進事業  
療養所全体としての社会復帰を推進するため、療養所を訪問して行う、交流活動への補助  
随時 約5件を予定  
申請件数3件、290人（R6年度 4件、356人）

(3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと

- ◆県営住宅の優先入居（住宅課）  
年4回 疾病感染症対策課及び住宅課において対応

- 住宅費の一部補助  
随時 生活保護基準により支給（例）岡山市（単身）37,000円／月  
「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」

(4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと

- 個別案件ごとに対応  
随時 関係自治体、医療機関との協議

社会復帰者については、疾病感染症対策課で随時対応  
令和7年度は1件相談あり

社会復帰希望者の要望を踏まえ、関係自治体や医療機関等と連絡調整

- 医療費、介護保険利用料の補助  
 随時 自己負担上限(市民税非課税) ・医療費、介護費 各15,000円/月  
 「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」

### (5)本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと

#### ●岡山県出身者への訪問

- ・令和7年6月27日 長島愛生園 4名  
 訪問時に、見舞金と里帰り助成金を贈呈した。県人会の方の高齢化に伴い、個別の面談は難しい状況にある。
- ・令和7年8月1日 神山復生病院 1名  
 疾病感染症対策課職員が訪問し、見舞金及び里帰り助成金を贈呈した。また、県への要望等をお伺いした。



#### <県外療養所入所者訪問時の状況(県職員の聞き取り内容)>

- ・元気なご様子で、普段の療養所での生活の様子などを話していただき、療養所の職員が親切にしてくれることに感謝されていた。
- ・高齢で、車いすでの生活ということもあり、里帰りは難しい状況にあるとのことだった。
- ・県への要望などをお伺いしたが、特別な要望ということはなく、岡山県から毎年職員が訪ね、話ができることを楽しみにしてくださっていた。
- ・証言等の記録を残すことへの要望もお伺いしたが、特に要望はないとのことだった。

- 意向を伺い、個別案件ごとに対応  
 里帰り、墓参りへの支援等について個別案件ごとに対応

### 3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施

#### ●史料の保全に関する国への要望

令和8年度重点要望

(参考)

国の登録有形文化財として登録(平成31年3月)

【長島愛生園】旧事務本館など5件

【邑久光明園】恩賜会館など5件

内容:将来構想の実現に向け、全力で取り組むこと。

ハンセン病療養所が保有する歴史的建造物や過去の貴重な文献等の資料を保全し、普及啓発に活用すること。

#### 4 今後体制を整えた上で、さらに行う取り組み

##### (1) ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施

自治会及び園当局の協力を得て、聞き取り調査を実施し、了解が得られる方の聞き取り調査結果については、啓発資料として活用すること

###### ●小冊子への体験談の掲載【再掲】

随時 入所者の体験談を掲載した小冊子「ハンセン病のこと正しく知っていますか？」を、学校・市町村等へ配布し、語り部講演会、学校等での人権学習に活用

配布数 6,798部（2月末時点）（R6年度 5,051部）

・主な配布先：学校、教育委員会、個人

###### ●動画やアニメーションによる啓発

通年 語り部証言や体験談の動画やアニメーションを展示会や人権学習の場で活用（令和3年度アニメーション作成、令和5年度パネル作成、令和6年度教員向け啓発動画作成、令和7年度語り部証言記録動画作成）

令和7年度実施内容：

・実際に授業で活用するため、対象年齢に合わせた動画を作成

①紙芝居動画

②語り部講演動画

③インタビュー動画

・平成30年度に作成した動画（DVD）をウェブで配信開始

##### (2) 関連資料・史料の収集・蓄積

広く県民に対して関連資料の提供を呼びかけるとともに、歴史研究者の協力を得て、岡山県及び市町村保存史料等の調査・研究を進め、偏見・差別解消に向けた取組みの一環として、これらの調査・研究を通じて明らかにされる事実を題材として、県民に対する啓発を行うこと

###### ●資料集刊行、収集した史料の保存・公開

通年 平成20年度までに刊行した資料集制作の際等に収集した史料を、平成21年度末に県立記録資料館へ引き継ぎ済。

県立記録資料館において、史料の公開（平成27年1月6日～）。  
なお、史料開示の相談があった場合は、個別案件ごとに対応している。

- (注) ◇ 人権・男女共同参画課の実施事業（保健医療課との共同事業を含む）  
◆ 住宅課の実施事業  
○ 教育庁の実施事業（人権教育・生徒指導課、県立図書館等）  
● 疾病感染症対策課の実施事業

## 語り部記録映像の概要について

## 1 概要

ハンセン病療養所の入所者（語り部）の平均年齢も89歳以上と高齢化が進んでおり、現在行っている「学校での語り部講演会」の実施が、今後困難になると考えられる。語り部の体験談を後世に伝え続けるため、語り部の証言等の記録が重要となっている。

作製した動画は、ホームページ（県ホームページ及びハンセン病啓発WEB）に掲載し、各学校で教材として活用してもらう予定。

## 2 動画内容

## (1) 紙芝居動画（小学校低学年・中学年向け）

令和6年度に奈良県の式下中学校が作成した、奈良県出身の僧侶である忍性さん（鎌倉時代にハンセン病患者を保護する施設「北山十八間戸」を建てる等、ハンセン病患者の救済等の事前活動に取り組んだ）についての紙芝居を演じる様子を撮影した。

演者は、瀬戸内市立牛窓東小学校6年生に依頼した。



## (2) 語り部講演動画（小学校高学年～中学生向け、高校生～一般向け、各1本）

令和7年度に実施する学校での語り部講演会の様子を撮影し、動画を作成した。



## (3) インタビュー動画（2本）

高校生が入所者にインタビューする様子を撮影し、動画を作成した。インタビューは、岡山県立邑久高等学校の生徒が行った。

語り部のうち、(2)の動画に出演していない方（長島愛生園自治会中尾会長、邑久光明園自治会山本副会長）にインタビューをした。



### 3 動画の活用方法

岡山県のハンセン病問題啓発ホームページ「おかやまハンセン病啓発 WEB（URL：<http://www.hansen-okayama.jp/index.html>）」に掲載し、ハンセン病問題啓発のパネル展での上映等での活用を予定している。

また、学校に周知し、授業の教材としての活用を促進する。



# 令和8年度岡山県のハンセン病問題対策事業実施計画(案)

## 【全体総括】

- 岡山県ハンセン病問題対策協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

## 【個別課題への対応】

### 1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

- (1) 単なるパンフレットの配布等ではなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること
  - ハンセン病問題に関する講演会等の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - 地域交流促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - ハンセン病問題啓発動画の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - ハンセン病療養所実施事業への協力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (2) ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと
  - ホームページでの啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - 学習用小冊子の配布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - 6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業・・・ 4
  - 12月4日～10日「人権週間」関連事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - 啓発パネル等の貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - ◇人権啓発研修（人権・男女共同参画課、保健医療課）・・・・・・・・・・ 4
  - ◇人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権・男女共同参画課）・・・ 4
  - ◇パンフレット等の設置、配布（人権・男女共同参画課）・・・・・・・・・・ 4
- (3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること
  - 交流研修会の実施等（教育庁）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - 各種研修会における「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明（教育庁）・・・ 4
  - 人権教育指導資料の活用の促進等（教育庁）・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習（出前講座）にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること
  - DVDの販売・無料貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
  - ◇○人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施  
（人権・男女共同参画課、教育庁人権教育・生徒指導課）・・・・・・ 5
- (5) 若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (6) 主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること
  - 県立図書館への設置（教育庁所管 県立図書館）・・・・・・・・・・・・ 5
  - 啓発パネル・関連図書の展示（教育庁所管 県立図書館）・・・・・・・・ 5

## 2 福祉増進施策の実施

- (1) 入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと
- 議会と保健医療部による合同訪問・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - 入所者激励費の贈呈・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと
- 社会復帰支援員による支援活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - 社会復帰推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと
- ◆県営住宅の優先入居（住宅課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - 住宅費の一部補助・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと
- 個別案件ごとに対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - 医療費、介護保険利用料の補助・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと
- 岡山県出身者への訪問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - 意向を伺い、個別案件ごとに対応・・・・・・・・・・・・ 7

## 3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施

- 史料の保全に関する国への要望・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

## 4 今後体制を整えた上で、さらに行う取組

- (1) ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施
- 小冊子への体験談の掲載・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - 動画やアニメーションによる啓発・・・・・・・・・・・・ 7
- (2) 関連資料・史料の収集・蓄積
- 資料集刊行、収集した史料の保存・公開・・・・・・・・ 8

(注)

- ◇ 人権・男女共同参画課の実施事業（保健医療課との共同事業を含む）
- ◆ 住宅課の実施事業
- 教育庁の実施事業（人権教育・生徒指導課、県立図書館等）
- 疾病感染症対策課の実施事業

## 全 体 統 括

### ●岡山県ハンセン病問題対策協議会

第1回 8月開催予定

第2回 3月開催予定

## 個 別 課 題 へ の 対 応

### 1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

(1)単なるパンフレットの配布等でなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること

- ハンセン病問題に関する講演会の開催 入所者による学校講演会 5校を予定
- 地域交流促進事業 県民が実施する地域交流事業への補助 随時 18件を予定  
療養所で学んだ学生等が地域に還元する取組への補助を新設2件を予定
- 啓発DVDの活用 随時 図書館等での視聴・貸出、学校講演会等事前学習
- ハンセン病問題啓発動画の活用  
随時 パネル展等イベントでの上映、一般視聴、学校教育での活用
  - ・小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画 (R3作成)
  - ・教員向けハンセン病問題啓発動画 (R6作成)
  - ・語り部証言記録動画 (R7作成)
- ハンセン病療養所実施事業への協力

療養所で学んだ学生等が、自ら学んだことを発信する事業に対して補助を開始

令和8年5月に開催予定のシンポジウムへの後援等の協力

(2)ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと

- ホームページでの啓発  
おかやまハンセン病啓発WEB <https://www.hansen-okayama.jp/>  
「ハンセン病を正しく理解するために～みんなで描くひとつの道～」  
通年 公開開始：平成14年6月24日（令和3年2月26日リニューアル）
- 学習用小冊子の配布  
随時 学校・市町村等へ配布、長島愛生園歴史館・邑久光明園等での活用  
ホームページに冊子のPDFデータを掲載  
令和8年度改訂予定

今の小冊子をベースに内容拡充予定  
・国の意識調査を踏まえた内容の充実  
・啓発動画への誘導  
・レイアウトの改善

- 6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業  
ハンセン病問題に関する普及啓発及びパネル展の開催

- ・ラジオ等による広報
- ・路面電車へ中吊り広告を掲出
- ・パネル展の実施

県庁1階県民室で6月16日（火）～6月25日（木）実施予定

- 12月4日～10日「人権週間」関連事業

ハンセン病問題に関する普及啓発

- ・ラジオ等による広報
- ・関連イベントでの啓発パネルの展示や啓発資材の配布

- 啓発パネル等の貸出

随時 希望に応じて貸出

- ◇ 人権啓発現地研修（人権・男女共同参画課、保健医療課）

県職員が療養所を訪問し、その歴史と現状を学ぶとともに、人権についての正しい理解と認識を深め、人権行政の担い手としての資質の向上に役立てる。

- ◇ 人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権・男女共同参画課）

民間団体との協働による人権尊重社会の実現を目指して、人権意識の高揚を目的に活動する団体が行う人権啓発事業に対し、その実施に係る経費の一部を補助。

- ◇ パンフレット等の設置、配布（人権・男女共同参画課）

随時 公民館・図書館等の公共施設に設置した人権情報コーナー（197か所）での情報提供

### (3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること

- 交流研修会の実施等（教育庁所管 岡山県総合教育センター）

国立療養所の園長による講義、入所者による講話等を通して、ハンセン病問題についての正しい理解を図る研修を実施する。

人権教育担当者研修講座

邑久光明園において、9月18日（金）に定員20人程度で実施予定

- 各種研修会における、「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明

（教育庁人権教育・生徒指導課）

各学校の管理職（新任副校長・教頭）、初任者に対してはリモート研修、各校の人権教育担当者、市町村教育委員会人権教育担当者に対しては集合研修とし、資料を配付し説明を行う。

<配付資料・説明の内容>

- ・「第4次岡山県人権教育推進プラン」について
- ・ハンセン病問題学習の充実に向けて

（県の事業、啓発HP、小冊子「ハンセン病問題のこと正しく知っていますか？」等の紹介）

- 人権教育指導資料等の活用の促進（教育庁人権教育・生徒指導課）
  - ・授業等で活用できる指導資料（「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集（上）」「ワークショップ（下）」「人権学習実践事例集」「なかおしんじ物語」等）
  - ・普及啓発DVD「未来への絆～ハンセン病問題から学ぶ～」
  - ・YouTube法務省チャンネル、NITS独立行政法人教職員支援機構 動画教材

**(4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習(出前講座)にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること**

- 啓発DVDの販売・無料貸出
  - 通年 制作委託会社に販売委託、疾病感染症対策課・県立図書館において無料貸出
    - 「ハンセン病を正しく理解するために」3,000円
      - ・ハンセン病全般がわかる啓発DVD29分
      - ・語り部証言集12名：157分
    - 「今、わたしたちができること」1,000円
      - ・小・中・高校生向けハンセン病啓発DVD14分
    - 「未来への絆～ハンセン病問題から学ぶ～」(無料貸出のみ)
      - ・入所者との交流や語り部講演、人権教育の場としての長島の紹介32分
    - 「語り部講演映像」(無料貸出のみ)
      - ・4名の語り部講演映像の啓発DVD136分
- 人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施（人権・男女共同参画課、人権教育・生徒指導課）
 

人権問題の早期解決に向けて人権問題相互の関連を図り、自らの課題として捉え、日常生活で生かせる人権感覚を身に付けるための教育・啓発活動を一層推進できる深い認識と実践力を持った指導者を養成するため、全4回の研修のうちの一つとして、邑久光明園において現地研修を行う。（10月15日（木））

**(5) 若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと**

各啓発活動の中で配慮

**(6) 主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること**

- 県立図書館への設置（教育庁所管 県立図書館）
  - 通年 ハンセン病関連文献コーナーを設置
  - 7月 「岡山県立図書館所蔵ハンセン病関係資料目録」の作成及び関係機関への送付
- 啓発パネル・関連図書展示（教育庁所管 県立図書館）
  - 5月中旬～7月中旬 県立図書館2階で展示 「学ぼう！ハンセン病問題」

## 2 福祉増進施策の実施

### (1) 入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと

- 議会と保健医療部による合同訪問  
例年、「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」の前後に環境文化保健子ども委員長及び保健医療部幹部が長島愛生園及び邑久光明園を訪問
- 入所者激励費の贈呈（ハンセン病療養所入所者に対するもののみ）  
例年、12月に県幹部が訪問し、贈呈  
対象：長島愛生園及び邑久光明園の入所者全員

### (2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと

- 社会復帰支援員による支援活動  
平成23年度末をもって活動終了。
- 社会復帰推進事業  
療養所全体としての社会復帰を推進するため、療養所を訪問して行う交流活動への補助 随時 約5件を予定

### (3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと

- ◆ 県営住宅の優先入居（住宅課）  
随時 疾病感染症対策課及び住宅課において対応
- 住宅費の一部補助  
年4回 生活保護基準により支給（例）岡山市37,000円／月  
「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」

(4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと

●個別案件ごとに対応

随時 関係自治体、医療機関との協議

●医療費、介護保険利用料の補助

随時 自己負担上限(市民税非課税) ・医療費・介護費 各15,000円/月  
「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」

(5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと

●岡山県出身者への訪問

岡山県出身者を訪問し、見舞金と里帰り助成金を贈呈し、近況や県への要望、里帰り予定などを伺う。

●意向を伺い、個別案件ごとに対応

里帰り、墓参りへの支援等について個別案件ごとに対応

### 3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施

●史料の保全に関する要望

令和9年度要望予定

### 4 今後体制を整えた上で、さらに行う取組

(1) ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施

自治会及び園当局の協力を得て、聞き取り調査を実施し、了解が得られる方の聞き取り調査結果については、啓発資料として活用すること

●小冊子への体験談の掲載

通年 入所者の体験談を掲載した小冊子を、語り部講演会、学校等での人権学習に活用

●動画やアニメーションによる啓発

通年 語り部証言や体験談の動画やアニメーションを展示会や人権学習の場で活用  
(令和4年度アニメーション作成、令和5年度パネル作成、令和6年度教員向け動画作成、令和7年度語り部証言記録動画作成)

(2) 関連資料・史料の収集・蓄積

広く県民に対して関連資料の提供を呼びかけるとともに、歴史研究者の協力を得て、岡山県及び市町村保存史料等の調査・研究を進め、偏見・差別解消に向けた取組みの一環として、これらの調査・研究を通じて明らかにされる事実を題材として、県民に対する啓発を行うこと

● 資料集刊行、収集した史料の保存・公開

通年 平成20年度までに刊行した資料集制作の際等に収集した史料を、平成21年度末に県立記録資料館へ引き継ぎ済。

県立記録資料館で史料を公開(H27年1月6日～)  
なお、史料開示の相談があった場合は、個別案件ごとに対応している。

(注) ◇ 人権・男女共同参画課の実施事業（保健医療課との共同事業を含む）

◆ 住宅課の実施事業

○ 教育庁の実施事業（人権教育・生徒指導課、県立図書館等）

● 疾病感染症対策課の実施事業